

学校の20年前と今～変わったところ～

わたしたちの世代では普通の事でも、20年前の世代にはなかったこと、あったことがそれぞれ違うと思います。それを今回は小学生の時代のことを中心に、ここが違うところを挙げてみました。



■焼却炉がなくなった



今は掃除の時間にゴミをゴミ捨て場まで持っていき、のちに業者の人が取りに来るというのが普通です。ですが、20年前は掃除の時間にゴミを焼却炉を持って行って、用務員さんをお願いして燃やしてもらうという形だったそうです。平成12年の「ダイオキシン類対策特別措置法」施行以来、家庭での焼却炉も見なくなりました。



■2学期制の学校が公立でもあること

昔は学校といえば夏休みと冬休みを挟んだ3学期制だったのですが、今では私立校だけではなく公立校でも2学期制があります。ただし、2学期制にした学校も3学期制に戻す傾向があるといわれています。これは評価の回数を増やしてほしいという要望によるものようです。



■パン給食の割合が低い



わたしの時はご飯が週3回、パンが週2回でした。現在はバリエーションが豊富で、パン給食は週に1回ぐらいのようです。平成21年の文部科学省通知「学校における米飯給食の推進について」では米飯給食を、週3回以上を目指しましょうと書かれているそうです。いろいろな食材を取り入れやすいことから現場からは歓迎されているようです。

■名簿の順が男女混合

20年前は男子の50音順の後に女子の50音順というのが普通でした。現在では男女混合で50音順の名簿になっています。1999年、「男女共同参画基本法」の制定以降から生まれた動きです。男女差別を避け、さまざまな機会均等を図るためとされています。



改めて見てみると私の時はおよそ現在のものと変わっていないと思います。焼却炉などはマンガなどでは見たことや聞いたことはありますが、実物を見たことはありません。そういえば20年前の人はわたしたちの知らないものが見られていて少しいなと思いました。平成がもうすぐ終わってしまうので、平成が終わるとともに無くなってしまうものもあるのかなと、今回調べてみて感じました。